

# 令和5年度 こらいと千代田 園の自己評価

1:よくできている 2:できている 3:努力が必要

R5年9月実施

## ●1:保育の理念・保育観

		1	2	3	コメント
Q1	あなたは、すべての子どもについて、一人ひとりの存在とその人権を尊重していますか。	80%	20%	0%	子ども達一人ひとりを大切にし、保育者は子どもの育ちに係る仕事であることを理解して、引き続き責任をもって保育をしています。
Q2	児童福祉法の理念に基づき、子どもの最善の利益を考慮して、子どもの生活と健全な発達を保証することが保育所の重要な使命だと理解していますか。	90%	10%	0%	
Q3	あなたは、「保育所保育指針」を理解したうえで、保育内容や保育方法を考える時のガイドラインとしていますか。	60%	40%	0%	
Q4	あなたの保育が、子どもの生涯の基礎を培う、きわめて大きな役割を担っていると認識していますか。	90%	10%	0%	
Q5	今日の保育園には、入園している子供の保育だけでなく、広く地域の子育て支援をする社会的役割があることを認識していますか。	90%	10%	0%	

## ●2:保育の内容

### 1)保育計画・指導計画

Q1	あなたは、指導計画を作成する時「保育所保育指針」を参考にしていますか。	50%	50%	0%	正規の職員に一人一冊「保育所保育指針」を配布しています。今後は、より一層活用していけるようにしていきたいと思います。話し合って計画を立てられるよう、意識して時間を作っていきます。
Q2	あなたは、保育所の方針である保育課程をもとにして、指導計画を作成していますか。	83%	17%	0%	
Q3	保育には、指導計画(年・月・週・日案)の作成というあらかじめ見通しを持った計画性が必要だと思いますか。	83%	17%	0%	
Q4	複数担任の場合、よく話し合ってお互いの考えを十分に理解したうえで、月・週・日案などを立てていますか。	83%	17%	0%	
Q5	あなたは、季節感や日本の伝統的な行事などを指導計画のなかに取り入れるようにしていますか。	100%	0%	0%	

### 2)乳児保育

Q1	あなたは一人ひとりの子供の出生時の状況、その後の発育・発達など、生育歴を細かに把握するとともに、保護者の状況などの背景も理解していますか。	60%	40%	0%	しぐさや言葉から子どもの気持ちを読み取り、受け止めながら気持ちに寄り添った丁寧な保育をしています。子どもやご家庭の情報を共有して保育に活かしていきます。
Q2	離乳食は、家庭と連携を取りながら、一人ひとりの育ち具合やその日の体調に合わせよう工夫していますか。	100%	0%	0%	
Q3	おむつ交換は「気持ちいいね」などと優しく声をかけたり、マッサージしたりして、排便の回数、便性を把握して臀部を清拭していますか。	100%	0%	0%	
Q4	赤ちゃんの目の動き、泣き声、しぐさ、片言をメッセージとして受け止め、ほほえみ、要求に応じる言葉をやさしくかえしていますか。	100%	0%	0%	
Q5	あなたがどんな状態にあるときにでも、赤ちゃんの笑顔やしぐさをかわいいと感じることができますか。	100%	0%	0%	

### 3)3歳未満児保育(1.2歳児保育)

Q1	「できない、やって！」と甘えてくる時は、その都度、その子の気持ちを受け止め、一人一人の発達に応じて要求を満たす援助をしていますか。	80%	20%	0%	心と時間にゆとりを持ち、成長を喜びながら一人一人に合わせた援助を考えていきます。子どものかわいい姿や成長を保護者と共有します。
Q2	あなたは子供の「これなに？」「どうして？」などの繰り返しの質問に、忙しいときでもできるだけその都度答えようとしていますか。	80%	20%	0%	
Q3	着替えや食事などの時には、その子に応じた手助けや言葉がけをしながら、時間を要しても自分からしようとする気持ちを大切にしていますか。	80%	20%	0%	
Q4	食べ物をこぼしたり汚したりしながらも、子どもが自分で食べる意欲を育てるために、楽しい雰囲気の中で食事ができることを第一に考えていますか。	90%	10%	0%	
Q5	子供がおもちゃの取合いなどでぶつかり合う時、危険のないよう配慮しつつ子供の発達の程度や心の動きを考えながら、しばらく見守る事ができますか。	80%	20%	0%	

### 4)行事

Q1	あなたは、「行事」について、その意味を考慮して保育の中に取り込んでいますか。	70%	30%	0%	園で行う行事について、学びを深め、計画に取り入れていきます。行事の様子は引き続き、ドキュメンテーション、写真などでお伝えしていきますが、感染症の状況を考慮しつつ、保護者の方も参加できる取り組みも検討していきます。
Q2	「行事」を保育に取り入れるときには、それが子供の健やかな育ちにつながる意味をもつことを意識していますか。	90%	10%	0%	
Q3	保護者が参観する「行事」の時には、保護者の評価にあまりとらわれず、日常の子供のありのままを見てもらう気持ちのゆとりを持っていますか。	80%	20%	0%	
Q4	「行事」に参加することを嫌がる子供には、その気持ちをくみ取って、行事の中でその子が活動できる場面を用意していますか。	90%	10%	0%	
Q5	あなたは「行事」が、子供の生活や遊びから発展していくように、日常の保育の積み重ねの結果となるよう心がけていますか。	80%	20%	0%	

5)延長保育

Q1	長時間にわたる保育を受ける子供には特に畳やカーペットで寝転ぶことができるようにするなど、家庭的雰囲気に配慮していますか。	90%	10%	0%	延長保育でも楽しく遊び、安心できる環境作りを日々考えていきます。
Q2	次々にお迎えがくる中で「ママ来ないね」のつぶやきに対して、その子の気持ちを受け止めて安定した気持ちで待つことが出来るよう、適切な対応をしていますか。	100%	0%	0%	
Q3	あなたは延長保育で、一人ひとりが好きな遊びができるように配慮していますか。	90%	10%	0%	
Q4	延長保育の時間帯には、とりわけ異年齢の子供同士で遊べるような工夫をしていますか。	80%	20%	0%	

●3:保健活動・安全管理

Q1	その子の体調の些細な変化や異常に速やかに対応するために、日常状态的な体調や機嫌の状態をつかむよう努めていますか。	80%	20%	0%	子どもの体調を毎朝共有し、把握しています。体調の急変や怪我は職員全員で見守り迅速に対応します。安全点検表を活用し、事故防止に努めています。
Q2	あなたは、健康観察で子どもの健康状態をある程度判断することができますか。	70%	30%	0%	
Q3	あなたは、睡眠中の子供の顔色、呼吸の状態を観察するなど、SIDS等への予防に努めていますか。	100%	0%	0%	
Q4	備品棚やピアノなどの転倒防止、その他事故が起こらないように、あなたの保育室内外の安全点検を、怠らないように意識していますか。	67%	33%	0%	
Q5	そのまま見過ごしたら明らかに危険な行動には、理由を説明して「いけません」や、「やめなさい」などの言葉ではっきりと制止していますか。	80%	20%	0%	

●4:保護者・地域社会・関係機関との連携

Q1	園での様子を伝え家庭での様子を聞くなかで、子供の育ちを保護者とともに、考え、喜び合うことが出来ますか。	100%	0%	0%	帰りの引き渡しの際に、その日の様子を丁寧に伝え、悩みや要望を伺えるようにしていきます。地域の方には、積極的に挨拶し、感染症に配慮しながら、コミュニケーションを取りたいと思います。
Q2	その日の子供の健康状態や興味を持った遊びなど、必要に応じてお迎え時に保護者に丁寧に伝えるように努めていますか。	100%	0%	0%	
Q3	たとえあなたの保育に批判的な保護者であっても、対立せずに受容し、意見や要求を聞こうとする姿勢がもてますか。	100%	0%	0%	
Q4	散歩や行事などで、子供たちが地域の人々と触れ合う機会を持つようにするとともに、気持ちよくあいさつをかわしていますか。	100%	0%	0%	
Q5	保育園が発信元になって、園の保護者以外にも子育ての大切さや喜びを伝える役割を担っていることを理解していますか。	80%	20%	0%	

●5:保育園の職務・役割分担

Q1	登園を嫌がるが続くなど、問題を感じた時、あなたは園長や主任、先輩保育士などに、その原因や対策の仕方を相談していますか。	100%	0%	0%	報連相を意識して行い、漏れが無いよう情報を共有していきます。家庭での様子も聞いて共有し、家庭と園とで協力して子ども達の成長を見守ります。
Q2	あなたは、職員会議で必要と思う質問や意見をはっきり発言することができますか。	70%	30%	0%	
Q3	あなたは、欠勤した日の出来事や連絡・注意事項は、自分から尋ねて理解するなど、職員間の連携に努めていますか。	70%	30%	0%	
Q4	調理士など保育士以外の職種の人たちが保育にかかわる時、その人たちへの気配りや協力関係に配慮するとともに、保育士としてのあなたの役割が何であるか理解していますか。	100%	0%	0%	
Q5	あなたは、自分のクラスの教材や備品を、責任をもって点検・管理していますか。	83%	17%	0%	

●6:保育士としての資質向上

Q1	あなたは、保育士としての責務と誇りを自覚して、人間性と専門性の向上に努めていますか。	80%	20%	0%	毎月行っている園内研修では、幅広い内容を学び、保育に活かしています。会議以外でも話し合いの時間を持てるよう、業務の効率化を図り、発言する場と話しやすい雰囲気づくりに努めています。
Q2	自分の保育に対する同僚や上司からの批評や意見を、感情的にならず謙虚に聞き、時には反省することができますか。	100%	0%	0%	
Q3	あなたは、保育の悩みや疑問を解決するために、研究・専門書を見つけて、そこから学ぶことが出来ますか。	70%	30%	0%	
Q4	あなたは、他のクラスの保育について、疑問や感想・意見を、お互いの向上のために、言葉に配慮しながら素直に述べる事が出来ますか。	60%	40%	0%	
Q5	あなたは研修で得た内容・成果を園の職員にわかるように丁寧に説明し、意見交換をするために役立っていますか。	50%	50%	0%	